

在学留学報告書 (1年留学)

留学の前半終了時：シート番号1, 2, 4, 7のみ記入して提出してください。

留学の後半終了時：シート番号0, 3, 5, 6, 8を記入して提出してください。

●基本情報

留学開始年度	2023	留学種別	交換
留学先国	ドイツ	留学先大学名	ケルン大学
本学での所属学部(研究科)・学科・専攻			
外国語学部	ヨーロッパ言語学科	ドイツ語専攻	
出発時の年次	学部4年次		
留学期間(実際の渡航期間)	2022	年	2月～2024年2月

●認定留学の方への質問

どのように留学先を選びましたか？
留学先決定後、渡航までの手続きの為に留学斡旋業者を利用しましたか？
<input type="checkbox"/> 留学斡旋会社を利用した (会社名： 仲介手数料 円)
<input type="checkbox"/> 留学斡旋会社を利用しなかった(以下の質問には回答不要)
どのように業者を選定しましたか？

●渡航までの準備

1. 入学申請

授業料は支払いましたか？		
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ (以下の質問には回答不要)		
授業料総額：	92,336	円
授業料総額のうち渡航前に支払った金額合計：	44,329	円
支払い方法：	wiseによる振り込み	

2. ビザ申請

ビザ申請先	
<input type="checkbox"/> 在日大使館/領事館等 <input type="checkbox"/> その他 ()	
<input checked="" type="checkbox"/> 現地に到着してから申請(申請の場所： 外国人局)	
必要書類	
申請書類、閉鎖口座の証明書、健康保険の証明書、住民票、在学証明書、写真	
取得にかかった期間(申請してから要した期間)	取得費用
申請：3月9日 受取：6月14日	113 €
具体的な申し込み手順(例：必要書類の準備→オンライン申請→面接予約→申請に行く→ビザ発行後受け取りに行く。)	
必要書類の準備→Stadt KolnのHPからオンライン申請→面接予約のメールを受ける→申請に行く、仮ビザをもらう→約3週間後ビザ発行用のPINコードが郵送される→3週間後に本ビザ発行後受け取りに行く	
ビザ申請の際の面接	
<input checked="" type="checkbox"/> 面接有(質問の内容 / 言語等： ドイツ語・英語どちらでも可。質問などは特に無く、説明を聞いてサインす。)	
<input type="checkbox"/> 面接無	
ビザ申請の際の注意点やアドバイス	
申請したときに最初はなかなか返信がないかもしれないが、諦めずに何度も送ること。到着してからの3か月はパスポートのみでEU内の国へ行けるが、3か月を過ぎるとビザなしではドイツ外へ行けないので要注意。	

現地でビザの延長申請を行いましたか？	
<input type="checkbox"/> 行った <input checked="" type="checkbox"/> 行わなかった (以下1~5には回答不要)	
1.申請先	
2.申請時期	
3.必要書類	
4.具体的な手続き	
5.注意点等	

3. 住居の確保

どのように住居を見つけましたか？	
大学から勧められたwerkで寮の申請を行い、1月ごろにオファーのメールが届いた。	
住居の申し込み手順	
werkのサイトから申請→werkからのオファーメールを受け取る→書類にサインして返信、初月の賃料を送金→大家からのメールを受け取る→賃貸契約書類にサインして返信→契約が完了し、鍵の受け取り日時が知らされる	
渡航前に支払った費用とその内訳	
費用： 42,345 円	内訳： 寮の居住費の最初の一月分
住居のタイプ	
<input type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> 寮 (寮の名前： Uni-center)	
<input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他 ()	
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 <input type="checkbox"/> その他 ()
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (無し)
設備 (ネット環境、共有スペース、部屋に設置されている家具等)	
机、椅子、ベッド、冷蔵庫、収納ダンスが備え付き。部屋内にネットあり。トイレ・風呂場付き。洗濯は寮内の共同コインランドリーを利用。	
食事	<input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 食事の提供があった (<input type="checkbox"/> 朝 <input type="checkbox"/> 昼 <input type="checkbox"/> 夜) <input checked="" type="checkbox"/> 外食
大学までの通学手段/通学時間	
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車 <input type="checkbox"/> ترام <input checked="" type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> その他 ()	
通学時間合計： 15 分	
住居を選ぶにあたってのアドバイスや申請の際のトラブル等	
私は比較的早くに住居のオファーが届いたため、申請の際に特にトラブルは無かった。入居日及び鍵の受け取り日時については相手方から指定されており、自分から希望は出来なかった (代理の人に受取ってもらうことは可能とのこと)。	

●滞在先の変更について

留学中に引っ越しや滞在先の変更は行いましたか？	
<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ (以下1~10には回答不要)	
1.どのように住居を見つけましたか？	
2.住居の申し込み手順	
3. 費用の合計とその内訳	
費用：	円
内訳：	
4.住居のタイプ	
<input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 寮 (寮の名前：)	
<input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他 ()	
5.部屋の種類	<input type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 <input type="checkbox"/> その他 ()
6.ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input type="checkbox"/> その他 ()

7.設備 (ネット環境、共有スペース、部屋に設置されている家具等)	
8.食事	<input type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 食事の提供があった (<input type="checkbox"/> 朝 <input type="checkbox"/> 昼 <input type="checkbox"/> 夜) <input type="checkbox"/> 外食
9.大学までの通学手段/通学時間	
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車 <input type="checkbox"/> トラム <input type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> その他 ()	
通学時間合計： 分	
10.住居を選ぶにあたってのアドバイスや申請の際のトラブル等	

4. 保険への加入

日本で加入した海外傷害保険について	
<input checked="" type="checkbox"/> 大学からの紹介で加入した <input type="checkbox"/> 自分で保険会社を探して加入した <input type="checkbox"/> その他 ()	
保険の費用：	140,900 円/ 12 ヶ月分
留学先での保険について	
<input checked="" type="checkbox"/> 留学先で加入必須の保険があった <input type="checkbox"/> 留学先で加入必須の保険はなかった (以下の質問には回答不要)	
<input type="checkbox"/> 留学先で加入必須の保険があったが、日本で加入した海外旅行保険により免除申請をし認められた	
費用：	163,000 円
具体的な加入手順や支払い方法等：	日本で入った旅行保険で免除可能か確認したが認められなかった。そのため留学先大学のHPに掲載されている、AOKの大学担当者へ連絡を取り加入した。支払いは毎月保険会社の口座振り込み。

5. 航空券手配

利用航空会社	JAL
費用	(<input checked="" type="checkbox"/> 片道 / <input type="checkbox"/> 往復) 280,890 円
渡航経路	富山空港→羽田空港→ミュンヘン空港→ケルン・ボン空港
航空券手配方法	※利用した旅行サイトや旅行会社、比較サイト等があれば記載してください。
JALの公式サイトから取得	

6. その他の事前準備

その他、済ませておくべき準備があればお書きください。(現金の両替, 携帯電話解約, 荷物発送等)
携帯電話の解約、もしくは海外での利用時の注意を携帯ショップに聞く。私は現地でSIMカード購入までは日本の契約のままでWiFiを使えない場所ではデータローミングで携帯を使用した。現金の両替は日本国内で済ませておく(基本的にカード利用が可能な場所が多いため、多く両替する必要はない。特に空港での両替はレートが高め)

●現地到着後～授業開始までの日程 (入学手続き・オリエンテーション・プレイズメントテスト等)

項目	内容
到着日時	2月 25日 20時
到着空港名	ケルン・ボン空港
キャンパスや滞在先への移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配の出迎え <input type="checkbox"/> ホストファミリーの出迎え <input type="checkbox"/> 知人等の出迎え <input type="checkbox"/> タクシー <input checked="" type="checkbox"/> 公共交通機関 <input type="checkbox"/> その他 ()
公共交通機関やタクシーで移動する際の行き方	到着日は空港最寄りのホテルに滞在した。空港からキャンパスはS-Bahnでケルン中央駅へ行き、U-Bahn(トラム)に乗り換えて大学の最寄りであるUnivaersität駅で降車。DBのアプリを用いると便利である
移動にかかった費用	3.40 €
※以下、授業開始までの日程	
2月 27日	プレゼマスターでDaF(ドイツ語)の授業開始。週4日8:15-11:45
3月 1日	入寮
3月 6日	住民登録
3月 16日	オリエンテーション
3月 27日	DaFの最終試験
3月 28日	ケルン市主催の留学生歓迎会

●現地到着後の手続き

1. 滞在許可書等の申請

現地で滞在許可書や住民登録等の申請は必要ありますか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 滞在許可書の申請が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 住民登録の申請が必要 <input type="checkbox"/> 特に必要な手続きは無い (以下の項目には回答不要) <input type="checkbox"/> その他 ()	
必要書類：	住民登録：パスポート、賃貸契約書、家主からの証明書 滞在許可書：パスポート、閉鎖口座証明書、保険証明書、住民票、在学証明書、写真(4.5×3.5)
申請時期：	住民登録：3/6 滞在許可書：3/9
申請方法：	住民登録：予約なしの日に自分の住まいの管轄の役所へ行く。 滞在許可書：ケルンの市のHPからアクセスし必要事項を記入する。担当者からメールが来るので、書類を提出し、面接日時が指定される。
費用：	住民登録：無料 滞在許可書：現金113€
取得に要した日数：	住民登録：1日 滞在許可書：3ヶ月
注意点等：	役所の事前予約は取れないことがほとんどのため、月・水曜日の予約なしで対応してもらえる日に行く。
銀行口座の開設	
<input checked="" type="checkbox"/> 現地で銀行口座を開設した <input type="checkbox"/> 銀行口座は開設していない (以下の項目には回答不要)	
銀行名：	N26
必要書類：	パスポート
開設時期：	3月4日
開設方法：	N26のアプリから個人情報を入力し登録する。ビデオチャットで面接とパスポートを使った本人確認を行う。
費用：	開設費用は無料。デビットカードの発行は10€。
開設に要した日数：	1日
注意点等：	2023年8月以降からパスポートのみでの開設が行えず、滞在許可証(ビザ)が必要とのこと。
携帯電話の購入	
<input type="checkbox"/> 現地で携帯電話を購入 <input checked="" type="checkbox"/> 現地でSIMカードを購入 <input type="checkbox"/> 日本でSIMカードを購入 <input type="checkbox"/> 特に何も購入していない (以下の項目には回答不要)	
必要書類：	住民票(ドイツでの住所が分かるもの)、パスポート
購入時期：	3月上旬
購入方法：	家電量販店
費用：	15 €
注意点等：	プリペイドで契約すれば、その後の引き落としはスーパー等でプリペイドカード
その他、現地で行った手続きがあれば記載してください。	
expatrio閉鎖口座のアクティベート：開設は日本で行ったがアクティベートにはドイツの住所が必要だった。本人確認をexpatrioのアプリからビデオチャットで行ったが、上手くいかなかった。Posidentでも可能だったため、郵便局に行きパスポートで本人確認をした。他の日本人留学生にも話を聞いたところ、書類提出だけで本人確認ができた人や私と同様に認証されなかった人もおり、原因は不明。本人確認の際はPosidentの方が確実に早いのでおすすめ。	

●留学先での履修科目について

※全留学期間分を記入してください。

留学先で取得した単位数合計		credit
		ECTS
本学で認定された単位数合計		単位

●履修登録の方法 (留学前半分)

履修登録の時期	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> オンラインで登録 <input type="checkbox"/> 入学申請書に記入して登録 <input type="checkbox"/> その他 ()	
<input checked="" type="checkbox"/> 到着後 <input checked="" type="checkbox"/> オンラインで登録 <input type="checkbox"/> 国際センター等の仲介 <input type="checkbox"/> その他 ()	
出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加・削除できましたか？	
<input type="checkbox"/> 変更できた <input type="checkbox"/> 追加できた <input type="checkbox"/> 削除できた <input type="checkbox"/> 変更できない	
履修登録の際の注意点等があればお書きください。	
所属はarts and humanitiesで科目は自由に選択できる。ドイツ語のコースはDaFから登録する必要がある。Erasmus学生と記載のあるコースが留学生向けの授業のため、ドイツ語で行われるが易しい。CGSPの英語留学生向けの授業も選択可能。	

※以下は留学先で履修した科目 (留学前半分) ごとに記載してください。

1	コース名/科目名	Deutsch Allgemeinsprache A2-1 (Intensivkurs)
	開講学部	Arts and Humanities
	担当教員名	Braun, Michael Linden, Anne
	時間数 (1週間当たり)	20
	授業内容	ドイツでの日常生活に必要なドイツ語スキルを学ぶ。聞く・読む・話す・書くの4技能を体系的に鍛える。4週間のこの集中コースでは、ドイツでの日常生活に必要なドイツ語スキルを学びます。
	試験・課題等	最終試験(リスニング、リーディング、ライティング)
	感想・自己評価等	プレゼメスターにオンライン形式で行われた。内容はA2のため、文法事項などはすでに知っているものだったが、実際に他の国のドイツ語学習者と話すとき々の母語の癖によって聞き取るのが難しいこともあった。日本で勉強している時にはいわゆるサムライアクセントでも言いたいことは理解できていたので、新たな発見だった。

2	コース名/科目名	A European History of Cologne in the 20th Century (1933-2000)
	開講学部	Arts and Humanities
	担当教員名	Müller, Johannes
	時間数 (1週間当たり)	2
	授業内容	歴史学は、鳥瞰図の世界史やパノラマのヨーロッパ史から巨視的な国史、微視的な地域史まで対象に焦点を当てる傾向がある。このコースでは、第二次世界大戦から冷戦時代を経てとらえどころのない「歴史の終わり」までの厄介なヨーロッパの歴史の中で、国家社会主義とアドルフ・ヒトラーの台頭から千年紀の終わりまでのケルンの歴史の軌跡を見ていく。数千年目の転換期に、私たちは、地域的な出来事や経験がヨーロッパ全体、さらには世界的な歴史的過程をどのように反映しているのか、それらが包括的な国境を越えた傾向とどのように相互に関係しているのか、そしてそれらがヨーロッパの他の都市中心部における現代の発展と比較できるのか、あるいはどのように対照的なのかを学ぶ。そうすることで、ドイツの「極西」ワイマールにあるプロイセンの中心地から、統一ドイツの連邦共和国第4の都市およびラインラントの大都市に至るケルンの歴史を再現する。しかし同時に、私たちはこの発展の中にあるヨーロッパの遺産を特定し、ケルンにおけるヨーロッパのアイデンティティの特定の「ライン」の変種を概説する。このコースで私たちが議論しようとしているのは、ヨーロッパのアイデンティティは、歴史的観点から見たあらゆるアイデンティティと同様に多様であり、地方、地域、国家、国境を越えた経験の結果であるということ。しかし、それは共通の歴史的参照、共通の発展と傾向の中核に関連しており、その特定の地域の歴史的組み合わせの一つに過ぎない。ヨーロッパのアイデンティティの中には、他より鋭いものもあれば、大雑把なものもある。20世紀、あるいはエリック・ホブズボームの言葉を借りれば「極限の時代」におけるケルンのヨーロッパ的アイデンティティを何が定義しているのか見ていこう。
	プレゼンテーション、レポート、筆記の最終試験	
	感想・自己評価等	近代～現代のケルンの歴史について学んだ。ドイツとしての歴史の概要は以前から知っていたが、ケルンと一都市の歴史については知識がほぼ無かったため、第二次世界大戦の空爆で大きな被害を受けたことなども初めて知った。課外授業でナチスの収容所を見学する機会があり、狭く陰鬱な雰囲気や収容生活や迫害の生々しさを感じた。短い演説分や新聞記事の内容を読んでグループで話し合う時に、あまり発言できなかった。授業内のプレゼンテーションでは民主主義とファシズムについてを他の受講者と協力して発表した。

3	コース名/科目名	Deutsche Sprache und Literatur im Unterricht (nur für Erasmus-Studierende)
	開講学部	Arts and Humanities
	担当教員名	Arnold, Antje
	時間数 (1週間当たり)	2
	授業内容	このセミナーでは、言語学および文学学習の基礎を扱う。ドイツの学生はドイツ語で何を学ぶのか? 母校でドイツ語を勉強しながら何を学ぶのか? そして、現在どのような研究が議論されているのか(何が注目されている)? 現在の絵本、過去のゲーテ、ロマン派の詩など、文学の本と一緒に読んでから、ゲーテ博物館と絵本博物館の見学をする。ドイツ語の授業はどうあるべきか、あるいはどうあるべきかを一緒に考える。
	試験・課題等	口頭試験、課外実習のレポート
	感想・自己評価等	留学生向けのドイツ語による授業で、話す機会が多くあった。課外授業ではゲーテの博物館を訪れたが、ゲーテが文学だけではなく錯覚などの科学的にも造詣が深かったことに驚いた。また、第二次大戦後のドイツの歴史博物館も訪問した。ゼロ・アワーのドイツの現代的発展を表すものが多く展示されており、軍服から再利用した鞆やコートなどとても興味深かった。口頭試験では、博物館訪問で自身の興味を持ったことについて話すという内容で、私はナチス政権でのユダヤ迫害について話したがあまり上手くできなかった。

4	コース名/科目名	Köln im Frühmittelalter: Die Entstehung einer heiligen Stadt
	開講学部	Arts and Humanities
	担当教員名	Ubl, Karl
	時間数 (1週間あたり)	2
	授業内容	<p>「聖なるケルン」という名は中世初期に登場した。カール大帝の時代以来、この都市は聖都市のランキングにおいて特別な地位を占めてきた。人々はローマやエルサレムに次ぐ順位を望んでいたのである。ライン川沿いの都市は人々の移住により大幅な人口を失っただけでなく、キリスト教徒の生活が損なわれることも受け入れなければならなかったことから、これは注目に値する。5世紀の危機の後、聖人神話はゼロから作り直された。この前例のないサクセスストーリーの条件は何だったのか？講義では、多数の教会がどのようにしてこの街に新しい顔を与えたのか、ケルンの聖人崇拜の伝説がどのようにして生まれたのか、そして司教がどのようにして徐々に街を支配するようになったのかについて説明する。しかし、カロリング朝時代に起こったのは「聖なるケルン」の形成だけではなかった。この都市は当時、初めての急速な経済的および人口動態の好転も経験した。</p>
	試験・課題等	レポート試験
	感想・自己評価等	ドイツ語による学部生向けの講義型の授業で、すべてを理解するには難しかったが、ライン川流域の都市として発展するケルンの都市形成からの歴史を学んだ。ケルン内のあちこちに残る遺跡についてや、ケルンに司教が何代もとどまり続けたりと宗教的に重要な都市として捉えられていたことが分かった。最終レポート試験は残念ながら悪い結果となった。

5	コース名/科目名	Theorie und Praxis: Die japanische traditionelle Musik aus der Perspektive der Bi-Musikalität
	開講学部	Arts and Humanities
	担当教員名	Shimizu, Yoshiro
	時間数 (1週間あたり)	2
	授業内容	<p>このコースは理論、音楽実践、演奏の3つの部分で構成されている。8世紀から18世紀までの日本の伝統音楽の概要から始まる。歴史の概要では、都節や雅楽など、日本の音楽のさまざまな音階について学ぶ。参加者は雅楽の楽器（竈笛、箏、笙）を選び、日本の伝統的な音符で練習することで、ヨーロッパの音楽理論とは異なる日本の音楽を自らの体験を通して知ることができる。このコースは、二重音楽性理論の実験として行われる。三弦楽器の三味線、琴の琴、日本舞踊などのワークショップを開催する。これらのワークショップはコースと同じ場所、同じ時間に開催されます。楽譜は伝統的な文字で書かれているが、事前の日本語の知識は必要ない。</p>
	試験・課題等	特に無し
	感想・自己評価等	日本の音楽、とくに雅楽について歴史を学び実際に演奏をした。日本についてであったため歴史などでも内容の理解はしやすかったが、雅楽がどのように日本に入ってきたかや神楽の意味といった今まで知らなかった分野で興味深かった。歌や楽器の演奏などの実践も多くあり、私は箏で演奏したが音を出すのも難易度が高かった。

●留学前半の感想について

留学先国・留学先大学・プログラム・授業・滞在先・私生活・授業以外の活動（課外活動・ボランティア・サークル等）等について、自由に書いてください。

留学先国の特徴や雰囲気等
とくにケルンに言えることだが、どこにでもラクガキがあったり、ホームレスがいたりと衛生面や治安があまり良くないと感じた。しかしケルンの人々は優しい人が多く、留学当初にスーツケース2個の大荷物を抱えていると大丈夫かと声をかけてくれる人が何人もいた。国際色豊かで留学生以外にもさまざまな国の人がいる。
留学先大学の特徴や雰囲気等
京都産業大学と比較すると規模がかなり大きい。キャンパスの敷地が広く市内のあちこちに大学の建物があるので、初回授業の時はほぼ確実に迷子になる。所属している学生もとても多く、ヨーロッパ以外の国を含めて多くの国からの留学生がいる。とても自由な雰囲気。
授業について
学部生対象のドイツ語の授業はほとんど理解できず、聴いているだけになってしまうのが悔しい。講義型の授業でも質問が多くされていて意欲の高さがうかがえた。おそらく聴講生としてご高齢の人々が授業に多くいることも驚いた。また、セミナー型の授業ではたいてい課外授業があり、いろいろな博物館などに行くことができた。
課外活動（ボランティア、サークル等）について
日本伝統音楽の授業にて、日本人教授から勧誘されて雅楽のサークルに所属している。日本でも弾いたことが無かったため、ドイツでまさか筆箒や琵琶の演奏をすることに驚いている。サークルメンバーのドイツ人らとの交流できたり、教会で演奏したりと経験の幅が広がりとてもありがたい。また、ESNという団体によって留学生向けのイベントが多く開催されているので、留学当の知り合いが全然いない時に参加して、留学仲間を増やすことができた。
滞在先（寮や一人暮らし等）の環境について
私の滞在先はアパートタイプのため、他の住人とのかわりかはほぼ無い。自由に使えて快適ではあるが、元から積極的に人と関わるのが苦手な質なので人と話す機会が減ってしまい、コミュニケーション能力や語学力向上のためにはあまり良くないのではないかと少し悩んでしまう。
現地での生活
最初に必要なものをそろえる際に購入できる場所が分からず困ったので参考にしてもらえたらと思う。ドラッグストア→dm,ROSSMANN、食器や布団など生活雑貨→woolworth。1ヶ月ほどで生活自体は馴れた。4月でもとても暗く寒いと思った一方で、6月ごろは一気に日が長くなり気温も夏のように暑かったりと、季節の変化が早いので体調を崩さないように気を付けた。今のところ大きなけがや事件に巻き込まれることが無かったため、病院にも通わずに済んでいる。
留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイス
私は日本でゲーテA2を取得してから留学をしたが、やはりドイツ語の授業はほとんどわからないままで、なんとか資料を見つつ進めている。ドイツは英語を話せる人が多いけれど、英語留学の人でもドイツ語が分かる方がもちろん生活面で役に立つので、ドイツ語の勉強はぜひ頑張ろう。季節ごとのイベントはもちろんのこと、ESN主催の留学生向けイベントが毎週数多くあるので、アクティブな人は絶対楽しめると思う。
留学前半の反省・留学後半に向けての意気込み・目標
とっさに言葉にできなくてそのまま口をつぐんでしまい、聴いているばかりという場面が授業でもプライベートでも多かった。また授業内容が理解できず、途中で履修を辞めてしまった授業もあった。失敗を恐れなくてもっと自分からドイツ語を話す機会を増やしていきたい。冬学期はB1のDaFに入ったので、滞在中にゲーテのb1できればb2を取得を目標とする。